

## Ⅶ. 教育職員の資格取得

## Ⅷ. 学芸員の資格取得

## Ⅸ. 日本語教員養成課程

## Ⅹ. キャリア・イングリッシュ課程

上記の課程を履修するには、所定の課程登録が必要です。  
履修については、学務課窓口で確認してください。

# XI. 副 専 攻

副専攻は、所属学科の専門分野以外の学問領域や専門分野に関連する学問領域について、関心を深め、学際的な視点を養うことを目的に設置されています。各自の問題意識、学習の目標に応じ、専門を超えた学習の場を提供するために、「キリスト教学」、「女性学・ジェンダー」、「比較文化」という3つのテーマの副専攻を設置しています。学際的な知見を蓄積することは、所属学科・専攻の学習にも大いに役立ちます。

## 副専攻課程の説明会・履修相談会について

1. 2・3年次の履修登録期間（今年度は3月24日（金）12時30分～13時30分）  
対象：副専攻登録を予定している2・3年次学生  
（副専攻の課程を履修中の3・4年次学生も可）  
内容：3領域の副専攻コーディネーターによる履修相談
2. 1・2年次の6月（日時は掲示およびCampus Squareを確認すること）  
対象：副専攻課程の履修を希望する1・2年次学生  
内容：① 副専攻課程の概要および履修方法について  
② 3領域の副専攻コーディネーターによる説明
3. 1～4年次の後期登録訂正前（日時は掲示およびCampus Squareを確認すること）  
対象：副専攻課程の履修を希望する1・2年次学生  
副専攻の課程を履修中の2・3・4年次学生  
内容：3領域の副専攻コーディネーターによる履修相談

### 1. 副専攻の到達 目標

- 所属する学科・専攻以外の学問領域や専攻に隣接する学問領域についての関心を深め、学際的な視点を養う。
- 多様な科目からテーマに合致する授業科目を一つのまとまりを持った学問領域として体系的に構成し、主体的な学びの機会を提供する。

### 2. 副専攻の領域

〔履修規程〕  
第24条

- 次の3つの副専攻の課程が置かれています。（登録できるのは1人1副専攻）
- (1) キリスト教学副専攻
  - (2) 女性学・ジェンダー副専攻
  - (3) 比較文化副専攻

### 3. 副専攻登録

〔履修規程  
第25条〕

副専攻の課程を履修するには、2年次または3年次始めの履修登録時に所定の副専攻登録を行わなければなりません。

- 副専攻登録をする者は、履修登録時に Campus Square (学生用 Web システム) で申請を行うこと。
- 複数の副専攻を登録することはできません。
- 副専攻の変更は、3年次始めの履修登録時に1回に限り認められます。
- 副専攻の選択については、アドバイザーに相談することができます。
- 課程登録には、特別な費用は必要ありません。

### 4. 副専攻の修了要件等

〔履修規程  
第26条〕

副専攻は、卒業時に副専攻必修科目、選択必修科目を含む22単位以上を修得していることにより修了と認められます。

- 副専攻を修了した者には、卒業時に副専攻修了証を交付します。
- 副専攻を修了した者には、履修した副専攻指定科目および修了を成績証明書に明記します。

### 5. 副専攻の履修計画

3副専攻は、それぞれ指定された科目から22単位を修得することをもって修了の要件としていますが、ただ漠然と単位を揃えるのでは意味がありません。副専攻の履修にあたっては、各自がしっかりと問題意識、学習の目標を持ち、自分のカリキュラムを作ることが欠かせません。各副専攻の履修モデルを参考とし、学習計画を立て、それぞれのテーマに意欲的に取り組んでください。

- 副専攻の履修については、所属学科・専攻の指導に従ってください。
- 副専攻の科目選択等については、アドバイザーと相談してください。
- 副専攻に関するより専門的な内容について、それぞれのコーディネーター(キリスト教学科目運営委員長、女性学研究所長、比較文化研究所長)に質問することもできます。

#### 履修計画上の 注意点

副専攻の履修計画を立てる上では、次の点に注意してください。

#### ○開講年度

科目によっては、隔年開講など毎年開講しない科目があります。各科目の配置学科等の教育課程も参照の上、早めの履修を心がけてください。

#### ○履修年次

科目毎の履修年次は、教育課程に定めていますので、各自履修計画を立てる際、確認すること。特にその科目が所属学科・専攻の必修科目、選択必修科目である場合は、教育課程に定める年次に履修する必要があります。

#### ○副専攻としての必修科目・選択必修科目

必修科目・選択必修科目の指定があります。教育課程で確認してください。

○副専攻の指定科目に、配置学科等における履修の前提条件がある場合は、その条件に従わなければなりません。

〔副専攻課程について不明の点は、以下の部署で確認して下さい。〕

履修方法・課程登録・修了証の取得要件についての質問……………学務課  
授業についての質問……………各科目の配置学科等

## 1. キリスト教学副専攻

## 2. 女性学・ジェンダー副専攻

上記の課程を履修するには、所定の課程登録が必要です。  
履修については、学務課窓口で確認してください。

### 3. 比較文化副専攻

グローバル化が進展し文化接触や人的交流がますます拡大する一方、「文明の衝突」の議論に象徴されるような諸文化の特異性が強調される現在において、比較の視点は重要な意義をもっている。本学においてはこの点は以前から強く意識されており、比較文化研究所を中心に、総合科目（総合講座）の企画や講演会の開催などさまざまな活動が行われてきた。これらの活動を基礎として、全学共通カリキュラム及び学科科目において比較の視点を強く持っている科目を核に、各地域の文化や社会の特色を超域的な視点から学べる科目を配して比較文化副専攻が設置されている。比較文化副専攻の履修は各学科専門分野の学習にも十分貢献するものである。

#### 比較文化副専攻の到達目標

比較文化の視点に立ち、日本および世界の様々な地域の社会や民族、言語、思想等を現代ないしは歴史的観点から理解する。また、異文化接触から生まれる民族間の葛藤や諸問題、文化の受容や変容を考察し、分析する能力を養う。

##### ■比較文化の基礎

比較文化研究の概念や方法論の基礎を学ぶ。世界のさまざまな文化、社会、民族について理解を深め、文化接触から生まれる影響を探り、文学、芸術などの比較・対照を通して比較文化の視点を涵養する。

##### ■異文化理解

比較文学や翻訳研究を通してその背景にある異文化を理解する。また、異なる社会、民族、文化、言語について比較的視点から学び、異文化間で起こりうる問題などについて心理的、コミュニケーション的側面からも捉える能力を養う。

##### ■地域と文化・社会

世界のさまざまな地域の歴史、文化、民族について学び、それぞれの多様性を生み出してきた背景を探る。地域的、歴史的、イデオロギー的違いなどを比較的視点から捉える能力を養う。

##### ■芸術・思想

異なる文化圏の芸術（美術、舞台芸術など）や哲学、思想、民俗のさまざまな側面について比較的視点から捉える能力を養う。

##### ■演習

比較文化的資料の分析などを通して比較文化研究の基本的概念や方法論を理解し、習得する。

●比較文化副専攻 教育課程〔2014・2015・2016・2017年度入学者に適用〕

授業科目名	単位数	履修年次	副専攻としての必修・選択 必修・選択の別	科目配置学科等	備 考
<b>■比較文化の基礎</b>					
比較文化の視野	2	1・2・3・4	選択必修	総合教養科目	
比較文化史	2	1・2・3・4	選択必修	総合教養科目	
比較文化の方法と理論	2	1・2・3・4	選択必修	2単位 総合教養科目	
比較文化	2	1・2・3・4	選択必修	必修 総合教養科目	<チェーンレクチャー>
比較文化論	2	1・2	選択必修	国際社会学科(国)	
<b>■異文化理解</b>					
比較文学の視点	2	1・2・3・4	選択必修	総合教養科目	
比較文学の方法	2	1・2・3・4	選択必修	総合教養科目	
異文化理解Ⅰ	2	2・3・4	選択必修	人文学科(英)	
異文化理解Ⅱ	2	2・3・4	選択必修	人文学科(英)	
日米比較文化Ⅰ	2	3・4	選択必修	国際社会学科(国)	
日米比較文化Ⅱ	2	3・4	選択必修	国際社会学科(国)	
比較社会学A	2	2・3・4	選択必修	国際社会学科(社)	隔年開講
比較社会学B	2	2・3・4	選択必修	国際社会学科(社)	隔年開講
国際社会学A	2	2・3・4	選択必修	2単位 国際社会学科(社)	隔年開講
国際社会学B	2	2・3・4	選択必修	必修 国際社会学科(社)	隔年開講
文化心理学(文化と自己)	2	2・3・4	選択必修	人間科学科(コミュ)	
文化心理学(文化と認知)	2	2・3・4	選択必修	人間科学科(コミュ)	
異文化コミュニケーション	2	2・3・4	選択必修	人間科学科(コミュ)	
言語文化論	2	2・3	選択必修	人間科学科(言)	
翻訳研究Ⅰ	2	2・3	選択必修	人間科学科(言)	
翻訳研究Ⅱ	2	2・3	選択必修	人間科学科(言)	
Cross-Cultural Understanding	2	2	選択必修	人間科学科(言)	
ドイツ語(読解)B*	1	2・3・4	選択	外国語科目	
フランス語(読解)B*	1	2・3・4	選択	外国語科目	
スペイン語(読解)B*	1	2・3・4	選択	外国語科目	
中国語(読解)B*	1	2・3・4	選択	外国語科目	
韓国語(読解)B*	1	2・3・4	選択	外国語科目	

授業科目名	単位数	履修年次	副専攻としての必修・選択 必修・選択の別	科目配置学科等	備考
<b>■地域と文化・社会</b>					
日本の文学	2	1・2・3・4	選択必修	総合教養科目	
日本文化史	2	1・2・3・4	選択必修	総合教養科目	
日本文化学概論Ⅰ	2	1・2・3	選択必修	人文学科(日)	隔年開講
日本文化学概論Ⅱ	2	1・2・3	選択必修	人文学科(日)	隔年開講
日本文化論	2	1・2	選択必修	国際社会学科(国)	
日本史特論(古代)B	2	2・3・4	選択必修	人文学科(史)	隔年開講
日本史特論(中世)B	2	2・3・4	選択必修	人文学科(史)	隔年開講
日本史特論(近世)B	2	2・3・4	選択必修	人文学科(史)	隔年開講
日本史特論(近現代)B	2	2・3・4	選択必修	人文学科(史)	隔年開講
日本近現代史	2	2・3・4	選択必修	人文学科(史)	学科指定あり(人文学科のみ)
日本近現代史A	2	2・3	選択必修	国際社会学科(国)	学科指定あり(国際社会学科・ 人間科学科・数理科学科)
近現代日本研究(日本語文化論)Ⅰ	2	3・4	選択必修	国際社会学科(国)	
近現代日本研究(日本語文化論)Ⅱ	2	3・4	選択必修	国際社会学科(国)	
世界の地域と民族	2	1・2・3・4	選択必修	総合教養科目	
ヨーロッパの歴史と文化	2	1・2・3・4	選択必修	総合教養科目	
アメリカの歴史と文化	2	1・2・3・4	選択必修	総合教養科目	2単位
ラテンアメリカの歴史と文化	2	1・2・3・4	選択必修	総合教養科目	必修
アジアの歴史と文化	2	1・2・3・4	選択必修	総合教養科目	
現代史の諸相	2	1・2・3・4	選択必修	総合教養科目	
西洋史特論(古代)B	2	2・3・4	選択必修	人文学科(史)	隔年開講
西洋史特論(中世)B	2	2・3・4	選択必修	人文学科(史)	隔年開講
西洋史特論(近世)B	2	2・3・4	選択必修	人文学科(史)	隔年開講
中国文化論	2	1・2	選択必修	国際社会学科(国)	
朝鮮文化論	2	1・2	選択必修	国際社会学科(国)	
東南アジア文化論	2	1・2	選択必修	国際社会学科(国)	
アメリカ文化論	2	1・2	選択必修	国際社会学科(国)	
アメリカ経済論	2	2・3・4	選択必修	国際社会学科(経)	隔年開講
EU経済論	2	2・3・4	選択必修	国際社会学科(経)	隔年開講
アジア経済論	2	2・3・4	選択必修	国際社会学科(経)	隔年開講
国際地域経済論	2	2・3・4	選択必修	国際社会学科(経)	隔年開講
日本経済論	2	2・3・4	選択必修	国際社会学科(経)	隔年開講
福祉社会学C	2	2・3・4	選択必修	国際社会学科(社)	隔年開講
<b>■芸術・思想</b>					
西洋の哲学のあゆみ	2	1・2・3・4	選択	総合教養科目	
東洋の哲学のあゆみ	2	1・2・3・4	選択	総合教養科目	
思想史特論BⅠ	2	2・3・4	選択	人文学科(哲)	
思想史特論BⅡ	2	2・3・4	選択	人文学科(哲)	
比較思想	2	1・2・3・4	選択	総合教養科目	
舞台芸術論	2	1・2・3・4	選択	総合教養科目	隔年開講
映像論	2	1・2・3・4	選択	総合教養科目	隔年開講
民俗学	2	1・2・3・4	選択	総合教養科目	
美術論	2	1・2・3・4	選択	総合教養科目	隔年開講
美術史(東洋)	2	2・3・4	選択	人文学科(史)	隔年開講
美術史(西洋)	2	2・3・4	選択	人文学科(史)	隔年開講
美術史(日本)	2	2・3・4	選択	人文学科(史)	隔年開講
<b>■演習</b>					
比較文化副専攻演習	2	2・3・4	選択	総合教養科目	
副専攻の課程修了に必要な最低単位数				22単位	

注1 比較文化副専攻の課程を履修する者は、2年次又は3年次の履修登録時に所定の副専攻登録を行うものとする。ただし、他の副専攻を登録する者は、本副専攻の登録をすることができない。

2 \*印のドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の各B(読解)は、同一言語を合計2単位まで本副専攻の課程修了に必要な単位として数えることができる。

3 本副専攻の課程を修了するには、本副専攻の授業科目のうち、選択必修、選択科目合わせて22単位を修得しなければならない。ただし、22単位のうち12単位は、自学科以外の科目の単位とする。

●比較文化副専攻 履修モデル〔2014・2015・2016・2017年度入学者に適用〕

○先生からのアドバイス ～あなたの履修プランにはこんな科目がおすすめ～

比較文化副専攻の学びを通して、比較の視点から文化や社会の特色を捉える力を養うことを期待しています。

区分ごとのテーマ、到達目標を参考にして、興味、関心を持った区分の授業科目を中心に履修することができます。また、次のようなテーマに基づく授業科目の履修も考えられるでしょう。

テーマ①アジア文化圏における日本のあり方を考えるには

②欧米文化に直面してきた近代日本のあり方を考えるには

③世界の民族文化の多様性と普遍性を考えるには

④種々の社会の特質を比較し、広く展望するには

⑤現代世界における諸文化の接触、交流のあり方を展望するには

⑥諸文化の歴史的な展開を比べあわせて考えるには

注意：履修モデルに挙げた科目の通りにすべて履修しなければならないということはありません。

履修モデルは、副専攻の課程修了に必要な最低単位数(22単位)以上で編まれている場合があります。

授業科目名	単位数	履修年次	副専攻としての必修・選択必修・選択の別	科目配置学科等	備考	テーマ					
						①	②	③	④	⑤	⑥
<b>■比較文化の基礎</b>											
比較文化の視野	2	1・2・3・4	選択必修		総合教養科目						
比較文化史	2	1・2・3・4	選択必修		総合教養科目						
比較文化の方法と理論	2	1・2・3・4	選択必修	2単位	総合教養科目	○	○	○	○	○	○
比較文化	2	1・2・3・4	選択必修	必修	総合教養科目						
比較文化論	2	1・2	選択必修		国際社会学科(国)						
<b>■異文化理解</b>											
比較文学の視点	2	1・2・3・4	選択必修		総合教養科目						
比較文学の方法	2	1・2・3・4	選択必修		総合教養科目						
異文化理解Ⅰ	2	2・3・4	選択必修		人文学科(英)		○				
異文化理解Ⅱ	2	2・3・4	選択必修		人文学科(英)			○			
日米比較文化Ⅰ	2	3・4	選択必修		国際社会学科(国)		○				
日米比較文化Ⅱ	2	3・4	選択必修		国際社会学科(国)						

授業科目名	単位数	履修年次	副専攻としての必修・選択必修・選択の別	科目配置学科等	備考	テーマ								
						①	②	③	④	⑤	⑥			
比較社会学A	2	2・3・4	選択必修		国際社会学科(社)	隔年開講								
比較社会学B	2	2・3・4	選択必修		国際社会学科(社)	隔年開講	○				○	○	○	
国際社会学A	2	2・3・4	選択必修		国際社会学科(社)	隔年開講	○				○	○	○	
国際社会学B	2	2・3・4	選択必修		国際社会学科(社)	隔年開講								
文化心理学(文化と自己)	2	2・3・4	選択必修	2単位	人間科学科(コミュ)				○					
文化心理学(文化と認知)	2	2・3・4	選択必修	必修	人間科学科(コミュ)									
異文化コミュニケーション	2	2・3・4	選択必修		人間科学科(コミュ)	隔年開講	○			○	○	○	○	
言語文化論	2	2・3	選択必修		人間科学科(言)				○				○	
翻訳研究 I	2	2・3	選択必修		人間科学科(言)				○					
翻訳研究 II	2	2・3	選択必修		人間科学科(言)			○						
Cross-Cultural Understanding	2	2	選択必修		人間科学科(言)									
ドイツ語(読解)B*	1	2・3・4	選択		外国語科目									
フランス語(読解)B*	1	2・3・4	選択		外国語科目				○					
スペイン語(読解)B*	1	2・3・4	選択		外国語科目									
中国語(読解)B*	1	2・3・4	選択		外国語科目				○					
韓国語(読解)B*	1	2・3・4	選択		外国語科目									
<b>■地域と文化・社会</b>														
日本の文学	2	1・2・3・4	選択必修		総合教養科目		○							
日本文化史	2	1・2・3・4	選択必修		総合教養科目									○
日本文化学概論 I	2	1・2・3	選択必修		人文学科(日)	隔年開講			○					
日本文化学概論 II	2	1・2・3	選択必修		人文学科(日)	隔年開講			○					
日本文化論	2	1・2	選択必修		国際社会学科(国)									
日本史特論(古代)B	2	2・3・4	選択必修		人文学科(史)	隔年開講								
日本史特論(中世)B	2	2・3・4	選択必修		人文学科(史)	隔年開講								
日本史特論(近世)B	2	2・3・4	選択必修		人文学科(史)	隔年開講								
日本史特論(近現代)B	2	2・3・4	選択必修		人文学科(史)	隔年開講								
日本近現代史	2	2・3・4	選択必修		人文学科(史)	学科指定あり(人文学科のみ)	○							
日本近現代史A	2	2・3	選択必修		国際社会学科(国)	学科指定あり(国際社会学科・人間科学科・数理科学科)	○	○			○	○		
近現代日本研究(日本語文化論) I	2	3・4	選択必修		国際社会学科(国)				○			○		
近現代日本研究(日本語文化論) II	2	3・4	選択必修		国際社会学科(国)									
世界の地域と民族	2	1・2・3・4	選択必修		総合教養科目						○	○	○	
ヨーロッパの歴史と文化	2	1・2・3・4	選択必修	2単位	総合教養科目									
アメリカの歴史と文化	2	1・2・3・4	選択必修	必修	総合教養科目				○		○			○
ラテンアメリカの歴史と文化	2	1・2・3・4	選択必修		総合教養科目									○
アジアの歴史と文化	2	1・2・3・4	選択必修		総合教養科目		○							

授業科目名	単位数	履修年次	副専攻としての必修・選択必修・選択の別	科目配置学科等	備考	テーマ						
						①	②	③	④	⑤	⑥	
現代史の諸相	2	1・2・3・4	選択必修	総合教養科目		○				○		
西洋史特論(古代)B	2	2・3・4	選択必修	人文学科(史)	隔年開講		○					
西洋史特論(中世)B	2	2・3・4	選択必修	人文学科(史)	隔年開講							
西洋史特論(近世)B	2	2・3・4	選択必修	人文学科(史)	隔年開講							
中国文化論	2	1・2	選択必修	国際社会学科(国)		○		○	○			
朝鮮文化論	2	1・2	選択必修	国際社会学科(国)								
東南アジア文化論	2	1・2	選択必修	国際社会学科(国)								
アメリカ文化論	2	1・2	選択必修	国際社会学科(国)								
アメリカ経済論	2	2・3・4	選択必修	国際社会学科(経)	隔年開講		○		○			
EU経済論	2	2・3・4	選択必修	国際社会学科(経)	隔年開講							
アジア経済論	2	2・3・4	選択必修	国際社会学科(経)	隔年開講							
国際地域経済論	2	2・3・4	選択必修	国際社会学科(経)	隔年開講	○						
日本経済論	2	2・3・4	選択必修	国際社会学科(経)	隔年開講							
福祉社会学C	2	2・3・4	選択必修	国際社会学科(社)	隔年開講				○			
<b>■芸術・思想</b>												
西洋の哲学のあゆみ	2	1・2・3・4	選択	総合教養科目	*印の科目より1科目を履修		*	○	○		○	
東洋の哲学のあゆみ	2	1・2・3・4	選択	総合教養科目								
思想史特論B I	2	2・3・4	選択	人文学科(哲)		○	*					
思想史特論B II	2	2・3・4	選択	人文学科(哲)			*					
比較思想	2	1・2・3・4	選択	総合教養科目								
舞台芸術論	2	1・2・3・4	選択	総合教養科目	隔年開講				**			
映像論	2	1・2・3・4	選択	総合教養科目	隔年開講				**			
民俗学	2	1・2・3・4	選択	総合教養科目					***			
美術論	2	1・2・3・4	選択	総合教養科目	隔年開講				**			
美術史(東洋)	2	2・3・4	選択	人文学科(史)	隔年開講				***			
美術史(西洋)	2	2・3・4	選択	人文学科(史)	隔年開講		○		***			
美術史(日本)	2	2・3・4	選択	人文学科(史)	隔年開講				***			
<b>■演習</b>												
比較文化副専攻演習	2	2・3・4	選択	総合教養科目		○	○	○	○	○	○	
副専攻の課程修了に必要な最低単位数				22単位								

注1 比較文化副専攻の課程を履修する者は、2年次又は3年次の履修登録時に所定の副専攻登録を行うものとする。ただし、他の副専攻を登録する者は、本副専攻の登録をすることができない。

2 \*印のドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の各B(読解)は、同一言語を合計2単位まで本副専攻の課程修了に必要な単位として数えることができる。

3 本副専攻の課程を修了するには、本副専攻の授業科目のうち、選択必修、選択科目合わせて22単位を修得しなければならない。ただし、22単位のうち12単位は、自学科以外の科目の単位とする。

\*\*\*印の科目より1科目を履修

\*\*印の科目より1科目を履修